

新居浜市SDGs推進プラットフォーム分科会活動計画書

分科会名称	ちょっといいコト。新居浜まるごと人事部（仮称）プロジェクト
分科会提案会員	有限会社永井商會
目的	新居浜市全体を会社に見立て、従業員（市民）がそれぞれが持つチカラ（知見やノウハウ等）を集めて地域課題を解決する仕組み（新居浜まるごと人事部（仮称）プロジェクト）を構築し、「ちょっといいコト」の見える化を通して、地域と多様に関わる関係人口の創出を推進します。
解決すべき課題	①新居浜市にはまちづくりの中間支援組織がないため、地域課題解決に向けて取り組む団体と企業をマッチングする機会が少ないため広げる必要がある。 ②地域活動を推進する担い手が不足している。（「力になりたい。」「ちょっといいコトしたい。」と思っているボランティア興味層に点ではなく面としてアプローチする手段がない。）
活動内容	＜新居浜まるごと人事部アンケート調査＞ 市民の寄付やボランティア活動の実態（意識）把握を明らかにし、共助社会づくり及び社会貢献に関する施策立案のための基礎資料を得るためのアンケートを実施する。 ＜新居浜まるごと人事部マッチング（新居浜市つながるポイント）＞ 上記アンケート調査をもとにした中間支援組織を組成。 新居浜市SDGs推進プラットフォーム専用のアプリを弊社から提供し、分科会メンバーの知見やノウハウを結集してカスタマイズを実施。 「チカラを借りたい」と「チカラになりたい」をマッチング。 ※新居浜市ボランティア・市民活動センター、新居浜市地域コミュニティ課との連携模索。
期待される成果	＜アンケート調査（寄付やボランティア活動）＞ 実態（意識）把握は、地域づくりや社会貢献の関係人口を増やすための課題が明確となり、本プラットフォーム会員および行政と共有する事により、公民連携に向けての礎となる。 ＜アプリを活用＞参加に応じてアプリ上に貯まる新居浜市SDGsつながりポイントデータを活用して、多く利用した人や場所を対象にSDGsの推進や地域コミュニティの活性化に貢献したことを称えるアワードを開催するなど、「力になりたい。」「ちょっといいコトしたい。」と思っているボランティア興味層の目線に立ち、行動に移せるような活動層への変容を促すことが期待できる。

※必要に応じ、ページ数を増やしても差し支えありません。